

厚生労働省

「令和元年度埼玉県障害者芸術文化活動普及支援事業(特色型)」

報告書

つながる、 つなぐ発見

社会福祉法人 昴

ART(s) さいほく
ART(s) さいほく

目次

厚生労働省

「令和元年度埼玉県障害者芸術文化活動普及支援事業(特色型)」

報告書

- P2 はじめに 社会福祉法人 昴 理事長 高澤守
- P3 埼玉県北西部における事業所等に対する相談支援の取り組み
- P5 人材育成研修会
- P7 発表の機会の創出 アートセッションズ in さいほくの取り組み
- P9 ネットワークづくり / 情報収集・情報発信
- P10 ART(s) さいほくの案内 奥付



はじめに

障害のある人が描き生み出す絵画や造形は、日本国内は言うに及ばず、世界中でもその芸術性の高さが注目されています。障害ある人が舞台等で見せる表現活動もまた、その豊かさ、感性と躍動感を持った芸術活動の担い手であることに私たちは魅せられています。

しかし、一方では、障害とか福祉とか聞くと、ともすれば特別な人、特別な場所、特別な世界と遠くかけ離れたイメージを抱く人が未だ多いのも事実です。障害があることについて、消極的に捉えられてしまい、多くの場面で受け手としての印象を抱かれ易いことも否めません。

私たちは、この大きく乖離した二つの価値観をつなぐ架け橋が、障害ある人の「芸術文化活動普及支援事業」の中にあると考えます。そのためには、障害ある人の活躍の場を福祉の枠組みに縛らずに、地域、とりわけ有形無形を問わない地域の伝統的な文化や芸能と結びつく方向性を模索します。

例えば、子どもや高齢者、自宅にこもりがちな人などの作品を発掘し、障害のある人はもとより、様々な人が表現した作品が、地域やその街の歴史ある建造物に展示されたることによって、新たな認識・価値の共有ができることを期待します。

障害ある人の表現活動が、新たな価値や大切な心に気づく取り組みとなり、固定観念を越えた新たな価値創造への取り組みとなることを目指します。

社会福祉法人 昴
理事長 高澤 守

つながる、 つなぐ発見

埼玉県西北部における

ART(s)さいほくでは、埼玉県北西部を活動エリアとし、相談支援事業所や民生委員、地域の支援者との連携に力を入れ、障害福祉サービス事業所に属さない在宅の人たちの芸術活動のサポートに取り組むことを事業の特色として取り組みました。

東松山市・比企郡、本庄市、児玉郡、秩父市、日高市等の相談支援事業所連絡会議等で障害者芸術文化活動普及支援事業の取り組みの紹介を行い、在宅障害者の芸術活動についての情報提供や協力依頼を呼びかけました。それらを通じて東松山・比企エリア(2名)、本庄・児玉郡エリア(3名)、秩父エリア(2名)、日高・飯能エリア(13名)の作品の発掘および作者の紹介を受け、発掘された作品は、企画展『アートセッションズinさいほく』にて展示発表しました。作品展には、作者はじめ関係スタッフや家族、知人も訪れ、展示を楽しんでいました。

その他、日高市自立支援協議会から相談を受け、同市での作品展のサポート、特別支援学校からの相談を受け作業製品の販売会、パフォーマンスの発表のサポートを行いました。また福祉事業所への訪問取材も積極的に行い、実際の創作活動の様子や利用者、スタッフの声を直に聞き課題や悩みを一緒に考え、作品出展にむけたサポートなどを行いました。

今後は同エリアにおいて、作者や作品の向き合い方などを共に学び合いながら、より深みのある支援を行っていくことが課題と考えます。

相談支援事業所等との連携





知ろう・考えよう・それぞれの視点から ～人材育成研修会の実施～



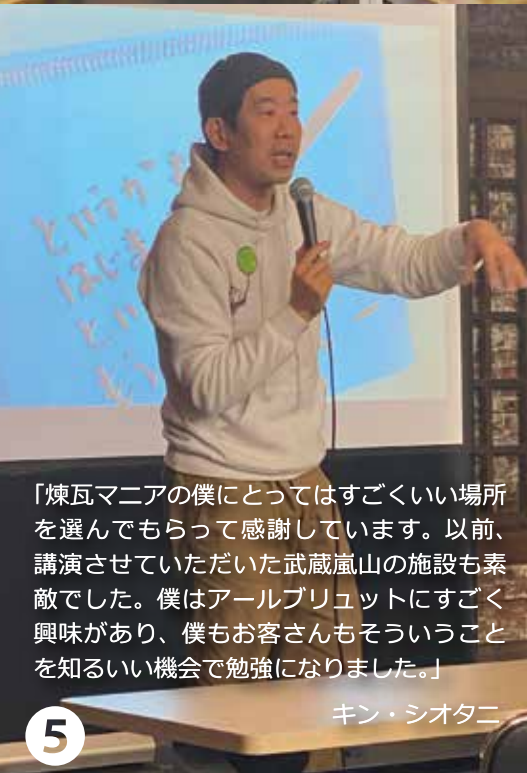
知ろう障害のある人たちの アートのこと街のこと

日時 2020年1月25日(土) 14:00～

- キン・シオタニ氏 (イラストレーター・文筆家) ドローイングシアター&トーク
- 横井悠氏 (社会福祉法人 GLOW ボーダレスアートミュージアム NO-MA 学芸員) 障害のある人たちの芸術活動について
- 長沼克氏 (こだま青年会議所 地域デザイン委員会委員長) アートで魅力発見 こだま芸術祭 (本庄市) での取り組み

【研修内容】3者による取り組みの発表 トークセッション
(障害のある人たちのアートが街にとけこむための意見交換)

旧本庄商業銀行煉瓦倉庫を会場に、ボーダレスアートミュージアムNOMA主任学芸員の横井裕氏、こだま青年会議所地域デザイン委員長の長沼克氏、文筆家・イラストレーターのキン・シオタニ氏を招いて、「知ろう、障害のある人たちのアート、街のコト」をテーマにシンポジウムを行いました。横井氏は、障害の有無を超えた、人の「表現性」が人々をボーダレスにつないでいく美術館での実践、長沼氏は、こだま地域の魅力の再発見や活性化に向け、本庄を舞台とした芸術祭を企画・運営した熱のこもった話、キン・シオタニ氏は、ドローイングシアター&トークを披露。街歩きで見つけた本庄の魅力やアートに関するユニークかつ興味深く話しました。各パネリストからの本テーマに関して多様な角度からの発言となりました。今後の障害者芸術文化活動の普及に向けた、楽しくも非常に学びの多い研修となりました。



キン・シオタニ



コアチョコ流 Tシャツの作り方

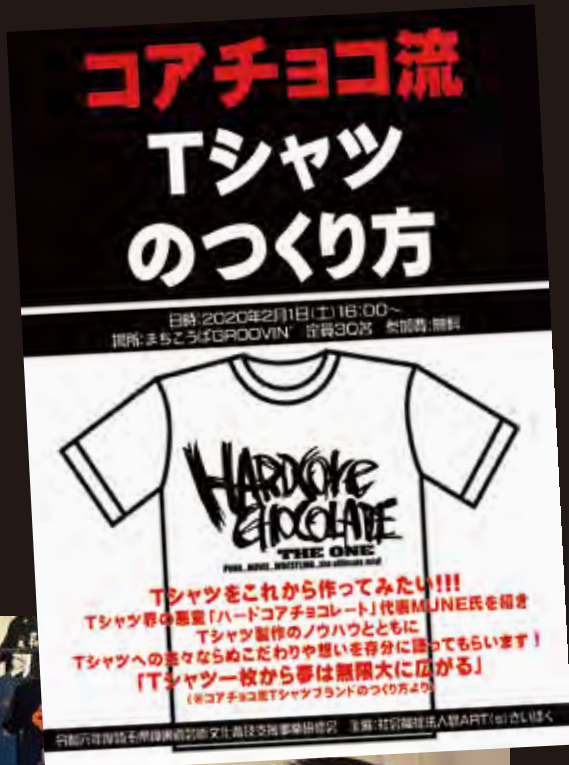
2020年2月1日(土)16:00～

講師 MUNE 氏

(ハードコアチョコレート代表)

【研修内容】

Tシャツブランド『ハードコアチョコレート』の代表・デザイナー MUNE 氏による Tシャツ制作についてデザイン方法や販路の開拓などのレクチャー。参加者による質疑応答を行った。



商品化研修においては福祉事業所でも数多く製作されている『Tシャツ』というアイテムに限定した研修会を行いました。講師にTシャツ界の悪童と呼ばれる、東中野のTシャツブランド『ハードコアチョコレート』の代表MUNE氏を招きました。デザインの方法や考え方、販路の開拓についてMUNE氏のとてもユニークな実践を話してもらいました。会場には同ブランドのTシャツも多数展示しました。参加者からはきわどい質問も出るなど笑いを交えながらも、Tシャツづくりの面白さ、奥深さ、さらに熱い想いを共有できたのではないかと思います。



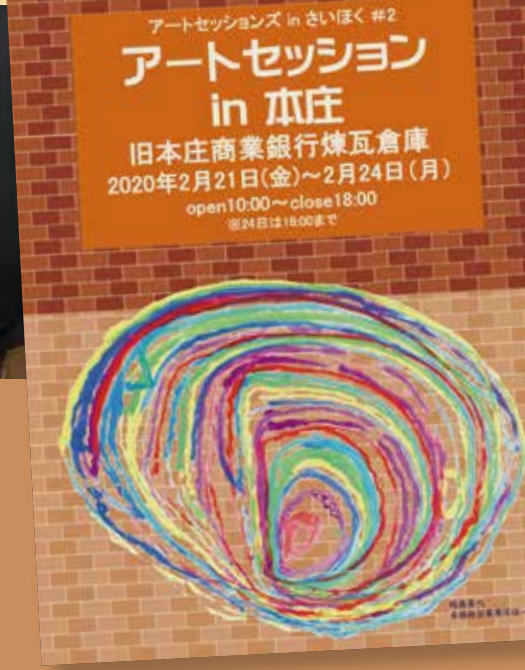


発表等の 機会の 創出 ART(s) in さいほく

【Art sessions in さいほく】

■ #1アートセッション
in むさしらんざん
【日時】2019年11月14日(木)
～17日(日)
【会場】日本赤十字社埼玉県支部
旧社屋(埼玉県有形文化財)
嵐山町
【来場者数】350名
【出展者】41名(在宅障害者2名)

埼玉県有形文化財でもある日本赤十字社埼玉県支部旧社屋(明治38年)を会場とし、アーティスト41人の作品約250点を展示しました。10代から80代まで多世代にわたる作品はバラエティに富み来場者はそれぞれお気に入りを見つけ楽しみました。コラボレーション企画として現在、全国各地で活躍中の異才ピアニスト紀平凱成によるピアノコンサートを行い、素敵な演奏が披露されました。同会場での作品展は6回目を迎えましたが、毎回新しい作品が発掘されています。今後も引き続き同工エリアでの、相談支援事業所等と連携し作家サポートを行っていきたいと考えます。



旧本庄商業銀行煉瓦倉庫を会場とし、絵画は22作家200点、造形は3作家100点を展示しました。新たに13名の作品が発表される機会となりました。展示のテーマは、「日々の積み重ね」として、歴史ある重厚な建物の空間の中に広がるカラフルでポップな作品が絶妙にマッチし、まるでおとぎの国に迷い込んだような錯覚を来場者に与えました。また、新たな試みとして、金澤一摩によるオリジナルドール人形劇「おばけのゴストント」を上演しました。地域との協働では、本庄市が共催し、本庄東高等学校吹奏楽部による演奏も行いました。

旧本庄商業銀行煉瓦倉庫を会場とし、絵画は22作家200点、造形は3作家100点を展示しました。新たに13名の作品が発表される機会となりました。展示のテーマは、「日々の積み重ね」として、歴史ある重厚な建物の空間の中に広がるカラフルでポップな作品が絶妙にマッチし、まるでおとぎの国に迷い込んだような錯覚を来場者に与えました。また、新たな試みとして、金澤一摩によるオリジナルドール人形劇「おばけのゴストント」を上演しました。地域との協働では、本庄市が共催し、本庄東高等学校吹奏楽部による演奏も行いました。



※下記企画は新型コロナウイルス感染拡大の影響によるため中止
■ #3アートセッションin横瀬
【日時】2020年3月12日(木)
～3月15日(日)
【会場】あしがくぼ笑楽校(横瀬町)
■ right it up blue 日高との協働企画
【日時】4月5日
【会場】日高こまの郷

■ #2アートセッションin本庄
【日時】2020年2月21日(木)
～2月24日(日)
【会場】旧本庄商業銀行煉瓦倉庫
(本庄市)
【来場者】470名
【出展者】25名(在宅4名)
【関連企画】
●2月21日
本庄東高等学校吹奏楽部
による演奏会
●2月22日
金澤一摩オリジナル人形
人形劇『おばけのゴストント』





つながる町の応援者！ ～関係者のネットワークづくり～

本事業においては福祉事業所だけでなく、地域のさまざまな人たちとのネットワークづくりを目指し取り組みました。埼玉県北西部では、障害のある人たちの作品を目にする機会はまだまだ少ないため、地域活性にとりくむ団体などの会合への参加や個人ギャラリーへの訪問を積極的に行い、事業や作品の紹介を行いました。取り組みを通じて、本庄市『こだま芸術祭』への参加、地域 FM ラジオ局（ちちぶエフエム）からは横瀬企画への協力の申し出、行政からは企画の共催を得、会場の貸出しの協力をはじめ、町内放送での呼びかけ、チラシの全戸配布など、その町ならではのユニークな協力を得ることができました。地域にはたくさんの応援者がいることが実感され、そのネットワークをより活性化させていくことに取り組んでいきたいと考えます。



情報収集・発信

情報収集については、埼玉県北部エリアの福祉事業所および相談支援事業所だけでなく美術館・博物館、学校等、NPO 法人、地域活動団体等などの地域の情報・取り組みを収集しました。作品展のチラシの送付だけでなく、現地訪問などを行い取り組みの紹介を行いました。また作品展会場の周辺を実際に歩いて街の人に話を聞いたり、それを通じて新たな協力も得ることができました。

作品展や研修会の告知や展示の様子は主にInstagram、twitter、フェイスブックで行いました。研修会の講師陣のファンによる拡散等もあり多数のアクセスをえることができました。また本庄市、横瀬町においては市町長による記者発表などの協力も得、広く発信を行うことができたと思います。



厚生労働省「令和元年度埼玉県障害者芸術文化活動普及支援事業（特色型）」報告書

つながる、つなぐ発見

ART(s) さいほく

〒355-0077 埼玉県東松山市上唐子 1532-5 まちこうば GROOVIN' 内

TEL / FAX 0493-81-4597

メール arts_saihoku@subaru-wc.com

社会福祉法人 昴

ホームページ <https://www.subaru-swc.com/>

Instagram <https://www.instagram.com/groovin4597/>

ART(s) さいほくの取り組みに賛同・協力をいただいた多くの人に感謝いたします。